

2016年OPヨット大会 in KATSURAHAMA
〔OP級/Aクラス〕

帆走指示書

1. 適用規則

本大会は、セーリング競技規則 2013-2016 (以下 RRS) に定義された「規則」を適用する。

2. 競技者への通告

競技者に対する通告は、陸上本部に設置された公式掲示板に掲示される。

3. 帆走指示書の変更

帆走指示書 (以下指示という) の変更は、その日の最初に行われるレースのスタート予告信号時刻の 60 分前までに掲示される。レース日程の変更は、前日の 17 時 30 分までに掲示される。水上において変更を通知する場合は、本部船上に L 旗を掲げ、口頭で通知する。

4. 陸上で発する信号

- 陸上で発せられる信号は、陸上本部前の旗竿に掲げられる。
- 音響信号 1 声と共に掲揚される D 旗は、「予告信号は、D 旗の掲揚後 30 分以降に発せられる。艇は D 旗が掲揚されるまで、出艇してはならない。」ことを意味する。この旗がクラス旗の上に掲揚されたときは、そのクラスのみに適用される。

5. レースの日程

- 本大会は 6 レースを予定し、その日の最初のレースのスタート予告信号時刻は次のとおりとする。

7 月 9 日 (土)

A クラス スタート予告信号時刻 12 : 55

7 月 10 日 (日)

A クラス スタート予告信号時刻 8 : 55

- レースが海上にて引き続き行われる場合は、次のレースのスタート予告信号時刻 (A クラスの予告信号時刻) を本部船に掲示する。
- 大会の最終日は 12 時 30 分より後に予告信号が発せられることはない。

6. クラス旗

クラス旗は以下のものを使用する。

クラス	旗
A クラス	白地に赤字の「OP」旗

7. レース・エリア

- レース・エリアを添付図 A に示す。
- レース委員会の判断でレース・エリアを移動させることがある。この場合は、本部船に L 旗を掲げ移動する。

8. コース

添付図 B にコースを示す。

9. マーク

- マーク 1、2、3 は、オレンジ色円筒形のブイとする。
- スタート・マークはスターボードの端にいる本部船と、ポートの端にあるオレンジ色円筒形のブイとする。
- フィニッシュ・マークはスターボードの端にいる本部船と、ポートの端にあるオレンジ色円筒形のブイとする。

10. スタート

- レースは RRS26 を用いてスタートさせる。

スタート信号

信号	旗と音響	までの時間 (分)
予告信号	クラス旗掲揚、音響 1 声	5 分前
準備信号	P 旗、I 旗、又は、 黒色旗を掲揚、音響 1 声	4 分前
1 分	準備信号の降下、長音 1 声	1 分前
スタート	クラス旗の降下、音響 1 声	0 分

- スタート・ラインは本部船上のオレンジ色旗を掲げたポールとポートの端のスタート・マークとの間とする。
- スタート信号の 4 分以降にスタートしようとする艇は、DNS と記録される。これは、RRS A4.1 を変更している。
- レースが再スタートまたは再レースとなった場合に掲示される RRS30.3 (黒色旗規則) に違反した艇のセールナンバーは、本部船のスターンに設置した掲示板に掲示される。掲示された艇は直ちにコース・サイド及びスターティング・エリアから離れなければならない。

11. 次のマークの位置の変更

スタート後に次のマークの位置を変更することはない。

12. フィニッシュ

フィニッシュ・ラインは、本部船上のオレンジ色旗を掲げたポールと、フィニッシュ・マークの間とする。

13. RRS42 (推進方法) 違反に対するペナルティー

- RRS 付則 P を適用する。
- プロテスト委員会は、RRS42 に違反した艇のセールナンバーを公式掲示板に掲示する。

14. タイム・リミット

- タイム・リミットは、A クラス 80 分とする。
- 先頭艇 (コースを帆走してフィニッシュした艇) がタイム・リミット内にフィニッシュした場合、レースは先頭艇フィニッシュ後 15 分で終了する (指示 14.1 の時間は無視される)。15 分以内にフィニッシュしなかった艇は DNF として記録される。この項は、RRS35 及び RRS A4.1 を変更している。

15. 抗議と救済の要求

- 抗議しようとする艇は、フィニッシュ後速やかにフィニッシュ・ラインに位置する本部船に口頭で抗議の意思を

伝えなければならない。(コース短縮の場合は、フィニッシュ・ラインを設置しているレース・コミッティー・ボートに伝えること)

15.2 抗議書の提出及び抗議締切時間

- a) 抗議書の交付及び抗議の受付はプロテスト委員会事務局で行う。
- b) 全ての抗議は、その日の当該クラスの最終レース終了後60分以内に提出されなければならない。この時刻は公式掲示板に掲示される。この項はRRS61.3を変更している。
- c) 救済の要求の提出期限は上記の抗議締切時間内、または当該ケースから60分以内のいずれか遅い方とする。この項はRRS62.2を変更している。

15.3 抗議の通告

レース委員会またはプロテスト委員会から艇に抗議をする場合、艇に抗議の内容を伝えるため、「抗議の通告」を公式掲示板に掲示する。

15.4 審問の場所及び時刻、抗議の当事者及び証人を競技者に知らせるため、抗議締切時刻後約20分以内に公式掲示板に掲示する。

15.5 審問の順序及び待機場所

審問は基本的に抗議受付順に行われる。当事者は、プロテスト委員会事務局前に待機していなければならない。

15.6 審問の再開要求

審問の再開要求は、次の時間内に提出されなければならない。この項はRRS66を変更している。

- a) 判決を通告された翌朝9時まで。
- b) 大会最終日は判決を通告された後20分以内。

16. 得点

- 16.1 RRS付則Aの低得点方式を適用する。
- 16.2 本大会は1レース完了で成立する。
- 16.3 艇の得点は4レースまでは全レースの得点の合計とし、5レース以上実施の場合は最も悪い得点を1つ除外する。

17. 安全規定

17.1 出艇申告と帰着申告

競技者は、出艇する前に陸上本部前に置かれたチェック・イン/チェック・アウト用紙に自ら署名しなければならない。また、帰着後は速やかにチェック・イン/チェック・アウト用紙に自ら署名しなければならない。

17.2 レースからリタイアした艇はできるだけ早くレース委員会に伝えなければならない。

17.3 競技者は、出艇から帰着までの間、十分な浮力のあるライフジャケットを着用していなければならない。

17.4 レース委員会またはプロテスト委員会は、艇が安全に帆走できないと判断した場合は、その艇にリタイアすることを勧告できる。また、緊急救助を要すると判断した場合は、その艇の意志に関わらず強制的に救助できる。

18. 装備の交換及び計測のチェック

18.1 損傷または紛失した装備を交換する場合は、レース委員会の承認を得なければならない。

18.2 全ての艇は、レース委員会の指示による計測にいつでも応じなければならない。

19. 運営艇、ジュリー・ボートの標識

19.1 本部船を除くその他の運営艇はピンク色旗を掲げている。

19.2 プロテスト・ボートは白地に赤字でPの旗を掲げている。

20. コーチ・ボート(兼レスキュー・ボート)

20.1 コーチ・ボート(兼レスキュー・ボート)は緑色旗を掲げている。

20.2 コーチ・ボートを出艇させる場合は、事前にレース委員会の許可を得なければならない。

20.3 コーチ・ボートは、準備信号以後は全ての艇がフィニッシュするか、またはレース委員会が延期、ゼネラル・リコールもしくは中止の信号を発するまで、艇がレースをしているエリアの外側にいなければならない。

20.4 コーチ・ボートは、レース委員会からレスキューの指示があれば、レスキュー・ボートとして活動しなければならない。この場合、そのコーチ・ボートには指示20.3は適用されない。

21. 責任の否認

本大会の主催者、本大会に関与する全ての団体、関係する役員およびスタッフは、競技者が大会前、大会中、または大会後に受けた全ての身体的及び物的損害に対する責任を否認する。

以下にBクラスの練習レースのレース方法を記す。

- ・ Bクラスは、Aクラスと識別するため指定されたカ所にリボン(支給)を付けること。
- ・ スタート予告信号(黄色地に黒字の「OP」旗)は、Aクラスのスタート信号と同時か、または、その後に発せられる。
- ・ Bクラスの艇はAクラスの予告信号からスタート信号までの間、スターティング・エリアから離れていなければならない。
- ・ Bクラスのタイム・リミットは60分とする。
- ・ Bクラスは練習レースのため抗議は受け付けませんが、RRS2(公正な帆走)を遵守すること。
- ・ Bクラスのコーチ・ボートもAクラス同様レース・エリアへの進入は禁止します。
- ・ レース・コースは添付図BのBクラスコース。
- ・ その他の項目については、Aクラス帆走指示書を参考とする。

Cクラスの練習レースは下記のとおり行う

- ・ 初心者対象のため安全を重視して行う
- ・ コースは港の入り口付近で行う
- ・ 指導者の助言は自由とし、抗議は認めない
- ・ A・Bクラスの邪魔にならないよう配慮する

